



魚類の耳石を 採取して比べてみよう



背骨を持つ生き物を「せきついでうぶつ脊椎動物」といいます。魚もその仲間、水中で生きるための特別なしくみを持っています。たとえば、「えら」で呼吸し、「ひれ」で泳ぎ、「うろこ」で周囲を感じ取ります。

このセミナーでは、脊椎動物の進化と系統についてお話を聞いたあとに実物の魚の標本を観察し、「えら」を取り出してその役割やしくみを学びます。さらに、「耳石」という小さな骨も取り出して実体顕微鏡で観察します。「脊椎動物」を楽しく学びましょう！



日 時	2025年 8月1日 (金) 10:00 ~ 12:00
場 所	日本大学生物資源科学部 (小田急江ノ島線 六会日大前駅下車 徒歩4分) ※駐車場はありません
講 師	竹内 寛彦 准教授 (日本大学生物資源科学部 一般教養 生物学研究室)
対 象	小学校4年生~中学生 (保護者の同伴可)
参加費	無 料
定 員	12名 (事前申込制 先着順)
申込期間	7/4 (金) 9時~7/18 (金) 15時 定員に達し次第締切
申込方法	Googleフォームより受付 参加者には後日詳細を連絡

＼ お申込みはこちら ＼



むらさきの丘って？



Lithospermum murasaki

昔からこの場所に自生していた「ムラサキ」という植物が、今ではすっかり姿を消しました。でも、そのことを覚えている人は、もうほとんどいません。私たちは生命を大切に、その姿勢を外部に示してきました。そして、これからも「ムラサキ」を忘れないために、このセミナー名を「むらさきの丘」としました。ここでいう「むらさき」は色ではなく植物名を示しており、日本古来の植物なので、ひらがな表記としています。